

よいのだろうか？

どこへ向かえば

私には何を信じ

2022年。

史上初。体験型ドキュメンタリー映画『肉態問答』

———〈 関係者特別試写会 〉———

2022年 2月27日(日)

入場無料  
事前予約制

■13:45～開場 ■14:00～挨拶、映画上映(90分) ■休憩 ■15:50～トークセッション ■17:00 終了

【会場】ウィング横浜 研修室121,122(2部屋連結)

横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおかオフィスタワー内

【お問い合わせ】特定非営利活動法人 さざなみ会 小堀 tel.090-4848-2875

ワークショップ&トークイベント 各日2回 入替制

チケット販売は「肉態問答」公式サイトにて

3.26(土)、27(日)

【会場】crotchet / cafe

杉並区本天沼1-1-13 ネコビル Tel.080-3342-4715

①14時～16時 ②18時～20時

【料金】¥2,000(1drink込)



# ピアーズと生んだ奇跡の公演をキッカケに制作された

## ドキュメンタリー映画

去る2021年6月15日。磯子区民文化センター杉田劇場にて、世界的ジャズピアニスト山下洋輔と肉態表現家、戸松美貴博と共にステージに上がり公演を行ったピアーズ。自ら由しとする“即興”を通し、内に秘める狂気や歓喜を表現し、観る者を圧倒するステージを繰り広げた。

それぞれの「個」を解放し自己肯定へとつなげる戸松美の活動、生き様に感銘を受けた一人の若きクリエイターが本公演をキッカケにドキュメンタリー映画の制作を決意。

杉田劇場の公演終了から約4ヶ月間。戸松美の活動に密着。共演したピアーズを始め、精神医療、福祉、また芸術…と、境界を超え、自身の表現と影響を追求する姿を追う。自己の肯定と社会。また、取り巻く状況の狭間で生まれる生々しい葛藤をカメラは捉える。

本ドキュメンタリー映画制作に携わった関係者へ感謝を込め、特別試写会を行います。主演の戸松美、そして監督した辻村のトークセッションを交え、映画が生まれた背景や社会が抱える課題を深掘ります。

### 【タイムスケジュール】

■13:45～ 開場    ■14:00～挨拶、映画上映(90分)    ■休憩    ■15:50～トークセッション    ■17:00 終了

### Profile

東京生まれ育ち在住。25年以上精神医療や福祉に関わり(自由アート創作や呼吸ワーク、コミュニティダンス等ワークショップ)、同時に肉躰の塊の態度で【肉態】と称し独自の身体表現を続ける。

10年以上 ジャズピアニストの山下洋輔氏と肉態即興DUOも続け毎回好評を博す。2021年、コロナ禍の中20人以上の精神疾患当時者と肉態DUOとの即興セッションは、福祉界にも衝撃と感動を呼び2022年、第2弾も決定。

海外交流も活発でUK拠点の実験音楽ユニットとのロンドン肉態コラボツアーはSOLDOUT、2022年、秋にも招聘されてるが新型コロナ次第。

裸足の学者で親まれた文化人類学者の西江雅之氏に私淑、亡くなる前日まで肉態表現の真髓を授かる。

Tokyo Experimental Festival 特別賞(一柳慧、山下洋輔、中川賢一、畠中実、毛利嘉孝ほか審査員)



Tomatsu Takahiro

戸松美 貴博



Tsujimura Kenta

辻村 健太

1995年山口県生まれ。大学3年までほとんどを地元で過ごし、将来が見えずやりたいことも分からないまま就職活動を行っていたが、親戚の畑作業を手伝ったことをきっかけに就活をやめ、自転車日本一周の旅へ出る。旅の道中で人のあたたかさに触れ、住み込みで働いていたゲストハウスで会う個性的な人々と接する中で今まで見えてこなかった自我が少しずつ芽生えていく。自分の人生を見つめ直すきっかけとなったように、様々な面白い人や経験を伝えていきたいと思うようになり映像制作を仕事とすることを決意する。そうして3年前に単身上京。映像制作やライブ配信を生業とし活動する中で、上裸で踊る1人の表現家と出会うことになる。

